



難関大学への合格の知らせが続々と届いています。ここでは合格を勝ち取った生徒の声をご紹介致します。

《合格した大学・学部・学科（コース）》

法政大学 文学部 地理学科

志望動機

小学生の頃から地図を見るのが大好きで、地図帳やゲームのマップをずっと眺めていました。NHKのプラタモリという番組を見るようになってからは地図だけでなく、地形やその土地の歴史にも興味を持つようになり、高校では地理探究を選択しました。選択した地理の授業はとても楽しく、興味深かったです。大学で更に研究したいと考え、地理学科を志望しました。

受験勉強を始めた時期

高校1年生4月ごろ

入試への準備方法

指定校推薦を目指していたので、基本的には定期テスト対策をしていました。しかし、家で勉強することが苦手なので、授業の内容を1度で理解出来るようにしました。理解出来れば暗記の必要が無いのでテスト勉強もだいぶ楽になると思います。面接では何を聞かれても答えられるように頑張りました。難しいことは考えず、聞かれたことに対して自分の意見を素直に答えるようにしました。

喜びのコメント

自分の学びたいことをこれから勉強出来ると思うと、とてもうれしいです。旅行や習い事、海外留学など、沢山の経験をさせてくれた両親にとっても感謝しています。様々な分野に興味を持って、勉強が面白いと感じるようになったのは両親のおかげだと思います。学校生活の中でも沢山の先生方に支えて頂きました。卒業後も現状に甘んじることなく、日々努力していきたいです。

後輩に伝えたいこと・アドバイス

親に決められたことや先生に決められたことより、自分のやりたい事をやると良いと思います。大学以外にも選択肢は沢山あります。働いたりのんびりしたり、何をしても自由です。ただ、その進路を決めた後で後悔しても自分以外に責任を取れる人はいないので、自分の行動に責任をもって慎重に考える必要があると思います。高校で学んだことを活かして卒業後も頑張ってください！



合格
祝
おめでとう

宮林 真由 (みやばやし まゆ)

進学コース文系

草加市立花栗中学校出身

《合格した大学・学部・学科（コース）》

学習院大学 国際社会科学部 国際社会科学科

志望動機

私はオーストラリアでの語学研修の際にホストファミリーや現地の高校生に日本の魅力や特徴をうまく伝えることができませんでした。そこで英語力の問題以前に自分自身が日本のことをまだ知らないという事実に気づかされ、まずは自分が「日本の魅力とは何か」ということを自らの言葉で発信できるようになりたいと思い、5分野（法学・経済学・経営学・地域研究・社会学）について専門性の高い講義を日本語で学び段階的に英語で学ぶことができる国際社会科学部を志望しました。

受験勉強を始めた時期

高校2年生1月ごろ

入試への準備方法

高3の夏までは推薦をもらえるように定期考査と外部模試の勉強に専念しました。指定校推薦が決まってからは、書類選考の志望理由書を作成し担任の先生に何度も添削をしていただきました。また口頭試問の対策として、英語と日本語のどちらの質問にも対応できるようにたくさん先生方に面接練習に付き合ってもらいました。

喜びのコメント

私は入学当初から指定校推薦や附属推薦を視野に入れていたので、定期考査はもちろんのこと、外部模試の勉強にも力を入れて取り組みましたが、なかなか思うように成績が上がらず伸び悩み時期もありました。苦手意識のあった日本史は高2の冬から集中的に勉強したことで成績も上がり苦手から克服することができました。努力を重ね良い結果が出たことをとても嬉しく思います。

後輩に伝えたいこと・アドバイス

自分が視野に入れていなかった学校だとしても、もしかしたらということがあるかもしれません。気になっている学校があれば自分の学力問わず情報収集しておくことをオススメします。日頃から勉強習慣をつけて定期考査は手を抜かないことが大事です。内申があれば最終的に推薦を希望するとなったときでも安心することができますと思います。



合格
祝
おめでとう

室田 葵美 (むろた あみ)

特別進学コース文系

柏市立酒井根中学校出身